

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 院外心停止後、蘇生した患者における瞳孔の日内変動と神経学的予後の関係』

研究機関名 東邦大学医療センター佐倉病院

研究責任者 救急科 職位・氏名 准教授 一林 亮

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は院外心停止後、蘇生した患者の瞳孔の日内変動と神経学的予後ことを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、院外心停止後、蘇生した患者の予後を推定し治癒が見込まれる患者の識別に影響します。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報：院外心停止後で蘇生した患者の病歴、診療の治療歴、自動瞳孔記録計による瞳孔記録等研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

### 【試料・情報の取得方法】

対象者：2018年10月～2020年3月までに東邦大学医療センター大森病院救命救急センターにおいて、心肺停止後に蘇生した患者で診療を受けた方

方 法：東邦大学医療センター大森病院倫理委員会「審査番号 M18099:瞳孔記録計を用いて神経学的予後を考える」の臨床研究に参加された患者の研究データを診療録から利用します。

### 【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター佐倉病院 研究代表者：一林 亮 役職：准教授

### 【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター佐倉病院および東邦大学医療センター大森病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年10月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター

職位・氏名 助教 中道 嘉

電話 03-3762-4151 内線 77575